

特別セミナー " 第一回実践的 ETAS 講習会 "

ETAS (Epidemic Type Aftershock Sequence) の生みの親、尾形良彦教授 (統計数理研究所) による、ETAS の実践的講習会を開催いたします。今回は講義よりも実際に ETAS ソフトウェア "[Analysis of Seismicity - updated version \(SASeis2006\)](#)" の実行に主眼を置きます。簡単な説明の後に、SASeis2006 を用いて実際の地震データを解析し、使いこなせるために必要なノウハウを学びます。また、これまで ETAS を実行しようとトライしたが、うまくいかない経験をお持ちの方は、その時のデータをお持ちください。その場で解決を目指しましょう。講習会当日、適切な PC (以下で説明します) を持参いただければ、事前準備無しに実習に参加できますので、ETAS に興味がある初心者も大歓迎です。ただし、予習をしていただくとスムーズに実習に参加できますので推奨いたします。

なお、[研究集会 " 地震活動の評価に基づく地震発生予測システム:標準予測モデルの構築へ向けて \(2\) "](#)の一環として本講習会を開催しますので、研究集会への参加もご検討ください。

- ・最終更新：2011 年 6 月 25 日
- ・日時：2011 年 7 月 12 日 (火) 9:00-12:00
- ・場所：[気象研究所第一共用室](#)

申し込み・問い合わせ

申し込み・問い合わせは、ZISINyosoku-submit@eri.u-tokyo.ac.jp へ事前にご連絡ください。

PC 環境・ソフトウェア

当日は、PC をお持ちください。[SASeis2006](#) は、フォートランで書かれたプログラムと R 言語で書かれたプログラムから構成されています。もし事前に PC 環境を整えていただくと当日の実習がスムーズに開始出来ます。[SASeis2006](#) には[マニュアル](#)もあります。PC 環境のチェックも兼ねた、予習を推奨いたします。ただし、適切な PC を当日持ってきていただければ、以下の 2 種類の方法で実習に参加できます。

- ・スティックメモリーを用いて、[SASeis2006](#) と関連ソフトウェア、及び KNOPPIX (Debian ベースの Linux ディストリビューション) を会場でお渡します。ハードディスクに OS をインストールする必要がないので、ハードディスクに変更を加えずに Linux 環境でソフトウェアを使用することができます。PC の仕様は、USB メモリからブートすることが必要となります。USB からブートするためには、メーカーによりその設定が異なります。あらかじめ USB メモリからブートするための手段を PC のマニュアル等でご確認をお願いします (例 . Lenovo の場合には、F12 キーとなります) 。
- ・ウェブ上で [SASeis2006](#) を実行します。インターネットにアクセスできる環境が必要です。
 - ・ [Web-versions of ETAS and AFTPOI](#)

関連リンク

- ・ [Statistical Analysis of Seismicity - updated version \(SASeis2006\)](#)
- ・ [The R Project for Statistical Computing](#)
- ・ [Cygwin](#)
- ・ Home Page of Yosi Ogata

- ・ [English version](#)
- ・ [日本語バージョン](#)

世話人

- ・ 楠城一嘉 (東大地震研)・熊澤貴雄 (総合研究大学院大学)・鶴岡弘 (東大地震研)・横井佐代子 (東大地震研)・Jiancang Zhuang (統数研)
- ・ [地震活動の評価に基づく地震発生予測](#)
- ・ 申し込み・問い合わせは、ZISINyosoku-submit@eri.u-tokyo.ac.jp へ事前にご連絡ください。